

Ruby 講義

第5回 Ruby入門

Kuniaki IGARASHI/igaiga

2012.5.10 at 一橋大学

社会科学における情報技術とコンテンツ作成III
(ニフティ株式会社寄附講義)

今日の資料：<http://bit.ly/ruby0510>

○ 剰余金の配当に関するお知らせ

○ ニフティ、「@nifty EMOBILE LTE 定額にねんプラン」の提供を開始

○ 「@nifty温泉」で「母の日 全国一斉！100のありがとう風呂」特設サイト公開

○ 「スマブレ！」のサービス停止について

○ ニフティとサンリオウェーブ、iOS向けアプリ「Hello Kitty Worl...」

○ 平成24年3月期 決算短信

○ 特別損失の計上に関するお知らせ

○ 「シユフモ」登録会員数150万人を突破、「2012年主婦の全国節電調査（冬季...」

ニフティとなら、きっとかなう。
With Us, You Can.

ニフティ株式会社

アット・ニフティ
楽しいサービスがいっぱい

アクセスマップ
大森から西新宿へ移転いたしました

@nifty Web募金
東日本大震災復興支援
募金受付中

- 2012年4月25日 IR [特別損失の計上に関するお知らせ](#)
- 2012年4月25日 IR [剰余金の配当に関するお知らせ](#)
- 2012年4月19日 IR [「@nifty EMOBILE LTE 定額にねんプラン」の提供を開始](#)
- 2012年4月19日 IR [ニフティとサンリオウェーブ、iOS向けアプリ『Hello Kitty World』を台湾で提供開始](#)
- 2012年4月10日 お知らせ [「@nifty温泉」で「母の日 全国一斉！100のありがとう風呂」特設サイト公開](#)

提供

講師

五十嵐邦明

株式会社万葉

エンジニア



GARASHI

.9.25 at 高専カンファ

いがいが
⑤

Teaching Assistant

クックパッド株式会社

演崎 健二
エンジニア



講義資料置き場

講義資料置き場をつくりました。
過去の資料がDLできます。

<https://github.com/hitotsubashi-ruby/lecture2012>

or

<http://bit.ly/ruby-lecture>

雑談・質問用facebookグループ

facebookグループを作りました

<https://www.facebook.com/groups/hitotsubashi.rb>

- ・加入/非加入は自由です
- ・加入/非加入は成績に関係しません
- ・参加者一覧は公開されます
- ・書き込みは参加者のみ見えます
- ・希望者はアクセスして参加申請してください
- ・雑談、質問、議論など何でも気にせずどうぞ～
- ・質問に答えられる人は答えてあげてください
- ・講師陣もお答えします
- ・入ったら軽く自己紹介おねがいします

先週の
おさらい

shell のコマンド

ls : ファイル一覧を見る

cd : フォルダー移動

mkdir : フォルダー作成

pwd : 今いるフォルダ名を表示

cat : ファイルの中身を表示

変数

オブジェクトへのラベル・荷札

変数 = オブジェクト

変数にオブジェクトを代入する

```
name = "igarashi"
```

(変数nameに"igarashi"オブジェクトを代入)

```
puts name  
=> "igarashi"
```

条件判断

if - end

if 条件

条件が成立した時に実行したい処理

end

if - else - end

if 条件

条件が成立した時に実行したい処理

else

条件が不成立の時に実行したい処理

end

比較演算子 ==, !=

メソッドの定義、呼び出し

```
def メソッド名  
  メソッドで実行したい処理  
end
```

メソッド定義
には **def** を
使う

```
def hello  
  print "Hello, Ruby.\n"  
end
```

定義

```
hello()
```

呼び出し

メソッド呼び出しはメソッド名に()をつけてます。
そして、この()は省略可能です。(曖昧にならない限り)

別のファイルを 取り込む

```
require "./hello"
```

実行フォルダにある hello.rb を取り込む

対応する教科書のページ

変数 p.21~23

コメント p.23~24

条件判断・繰り返し p.24~28

メソッド p.29

別のファイルの読み込み(require)

p.30~31

今週

ここから

目次

Array Hash



ArrayとHashで 今すぐ愛され♥スタイル

配列(Array)

ほかのオブジェクトの入れもの

作り方の例：

```
names = ["五十嵐", "濱崎"]
```

```
numbers = [1,3,5]
```

[と]で囲い，で区切る。

文字列や数字ほか、どんなオブジェクトも入ります。

空っぽの配列は [] です。

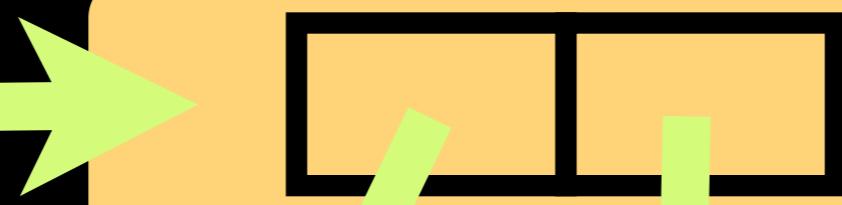
概念図は教科書p.35 図2.2 を参照。

配列(Array)概念図

```
names = ["五十嵐", "濱崎"]
```

変数

- names



五十嵐

濱崎

Array
オブジェクト

String
オブジェクト

配列から読み込む 番号(index)を指定して読み込み

`names = ["五十嵐", "濱崎"]`

`names[0]` → "五十嵐"

`names[1]` → "濱崎"

最初の要素は0番です。1始まりではないので注意です。

また、末尾からの番号でも読み込めます。(-1始まり)

`names[-1]` → "濱崎"

`names[-2]` → "五十嵐"

配列へ追加する

配列の末尾にオブジェクトを追加するには
pushメソッドを使います。

```
names = ["五十嵐", "濱崎"]
```

```
names.push("山田")
```

```
p names → ["五十嵐", "濱崎", "山田"]
```

配列に入っている要素数を調べるには sizeメソッド

```
names = ["五十嵐", "濱崎", "山田"]
```

```
p names.size → 3
```

配列の繰り返し処理

教科書
p.38~

eachで中身を順番に処理する
ものすごーーーく大事！！！

```
配列.each do |変数|
  繰り返したい処理
end
```

配列の繰り返し処理

```
names = ["五十嵐", "濱崎", "山田"]
```

```
names.each do |name|
```

```
  puts name
```

```
end
```

```
→ "五十嵐"
```

```
  "濱崎"
```

```
  "山田"
```

nameの両脇
にある記号 |
はパイプと読み
ます。

キーボードの右
上の方にある
(たぶん)。

nameの中身が1回目は"五十嵐"、2回目は "濱崎",
3回目は"山田"となり、繰り返しputs文を実行

配列(Array)の演習

1. 配列 [1,3,5] の全要素を表示するコードを書いてください。
2. 配列 [1,3,5] の全要素を加えた結果を表示するコードを書いてください。

ヒント: ある変数に数 N を足すのは $x = x + N$ です。これは $x += N$ とも書けます。

配列(Array)の演習 【上級】

3. 【上級】 配列 [1,1,2,2,3]を[1,2,3]にするコードを1行で書いてください。

ヒント：リファレンスでArrayのメソッドを探してみましょう。

<http://miyamae.github.com/rubydoc-ja/1.9.3/>

4. 【上級】 上記2.をeachを使わずに書いてください

ヒント：injectを使います。使い方はリファレンスから探ししましょう。

<http://miyamae.github.com/rubydoc-ja/1.9.3/>

ハッシュ(Hash)

教科書
p.40~

これもほかのオブジェクトの入れもので使います。
使い道の例としては、、、



検索

筍 塩麹 ボンゴレ あさり 新玉ねぎ もっと見る...

レシピをさがす

レシピをのせる

クックル

[«hmskpad のレシピ \(13品\)](#)

レシピID: 1188379

オーソドックスなとんかつ



揚げ物楽しい、豚肉安い、ソースも簡単

 hmskpad

材料 (1人分)

豚ロース	1枚くらい
こしょう	少々
サラダ油	豚ロースが全て浸かるくらい

■ 衣

小麦粉 (薄力粉)	100gくらい
パン粉	100gくらい

こういうページを表現したいときに

オーソドックスなとんかつ ←title



ingredients→

揚げ物楽しい、豚肉安い、ソースも簡単

description ↑

hmskpad

author ↑

1枚くらい

材料 (1人分)

豚ロース

少々

こしょう

サラダ油

豚ロースが全て浸かるくらい

■ 衣

小麦粉 (薄力粉)

100gくらい

卵

1個弱

パン粉

100gくらい

■ ソース

ケチャップ

大さじ2

ウスターソース

100ccくらい

データにラベルを付けると扱い易いです

1

2

3

4

包丁の峰で合体向上

オーソドックスなとんかつ

←title

**description**

揚げ物楽しい、豚肉安い、ソースも簡単

author

1枚くらい

豚ロース

こしょう

少々

サラダ油

豚ロースが全て浸かるくらい

■ 衣

小麦粉（薄力粉）

100gくらい

卵

1個弱

パン粉

100gくらい

ingredients→**recipe = {****:title => "オーソドックスなとんかつ",****:author => "hmskpad",****:description => "揚げ物楽しい、豚肉安い、ソースも簡単",****:ingredients => [省略] }**

Hashを使う
とこんな感じ
でまとめられ
ます

教科書
p.40~

ハッシュ(Hash)

キーと値の組を持つオブジェクトの入れ
もの。なんでも入ります。

作り方の例：

```
recipe = {  
  :title => "♥日向夏のジャム♥",  
  :author => "濱崎" }
```

↑ キー

↑ 値

{}で囲う キー => 値 区切りは , 空配列は {}
ここでキーに使われている：始まりのものは何？

シンボル

ラベルとして使う文字列的なもの

`:title`

シンボルにするには先頭に`:`を付ける
ハッシュのキーによく使います

文字列との変換もできます

シンボルへ `"foo".to_sym` → `:foo`

文字列へ `:foo.to_s` → `"foo"`

ハッシュから読み込む

```
recipe = { :title => "♥日向夏のジャム♥",
:author => "濱崎" }

p recipe[:title] → "♥日向夏のジャム♥"
p recipe[:author] → "濱崎"
```

ハッシュ名[キー]で読み込みます。

ハッシュへ追加する

ハッシュ名[キー] = 格納したいオブジェクト

同じキーの要素は追加不可(上書き)

ハッシュオブジェクト内でキーは唯一のもの(ユニーク)

```
recipe = { :title => "♥日向夏のジャム♥",
           :author => "濱崎" }
```

```
recipe[:url] = "http://cookpad.com/recipe/xxx"
```

追加後

```
p recipe → { :title => "♥日向夏のジャム♥",
               :author => "濱崎",
               :url => "http://cookpad.com/recipe/xxx" }
```

ハッシュの繰り返し処理

Arrayと同じですが、変数を2個とります。

```
ハッシュ.each do |キーの変数, 値の変数|
```

繰り返したい処理

```
end
```

```
recipe = { :title => "♥日向夏のジャム♥", :author => "濱崎" }
```

```
recipe.each do |k, v|
```

```
  print k, " - ", v, "\n"
```

```
end
```

→ title - ♥日向夏のジャム♥

author - 濱崎

ArrayとHashの使い分け

Array : 順番が決まっているいれもの

- ・並び順が重要なものの
- ・データを重複させたい場合にも使える

Hash : キー(名札)を付けられるいれもの

- ・順番が保持されなくとも困らないもの

※Ruby 1.9 からはHashも順番を保持します。

- ・キーが重複しない場合に利用

nil

「ない」ことを表すオブジェクト
例えば、ハッシュで存在しないキーを読もう
とするとこの nil が返ってきます。

if 文などで条件判断をする場合、

nil は 偽（不成立）になります。

偽（不成立）になるのは false と nil の2つだけです。

それ以外の全ての値は真（成立）になります。

pp

p より見易いデバッグ用メソッド

```
require "pp"  
pp 見たい変数
```

ppには require文 が必要

Hashの演習

1. ハッシュの全要素を表示する、右のコードを実行してください。

```
recipe = {  
  :title => "いちごのコンフィ",  
  :author => "濱崎" }  
recipe.each do |k, v|  
  print k, " - ", v, "\n"  
end
```

2. 1.のコード中のrecipeの :author キーに対応する値を "五十嵐" とする代入文を書いてください。

Hashの演習【上級】

3. 【上級】 右の**nums**を値が偶数の要素だけにしてください。

ヒント：リファレンスでHashのメソッドを探してみましょう。

<http://miyamae.github.com/rubydoc-ja/1.9.3/>

剰余(割り算した余り)を求める演算子は % です。

```
nums = {  
  :a => 1,  
  :b => 2,  
  :c => 3,  
  :d => 4,  
  :e => 5}
```

まとめ

配列(Array)

ほかのオブジェクトの入れもの

作り方の例：

`names = ["五十嵐", "濱崎"]`

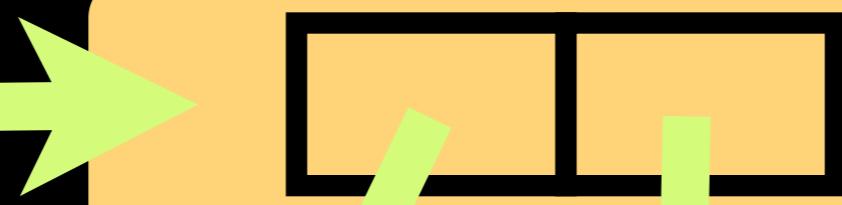
`numbers = [1,3,5]`

配列(Array)概念図

```
names = ["五十嵐", "濱崎"]
```

変数

- names



五十嵐

濱崎

Array
オブジェクト

String
オブジェクト

配列から読み込む 番号(index)を指定して読み込み

`names = ["五十嵐", "濱崎"]`

`names[0]` → "五十嵐"

`names[1]` → "濱崎"

最初の要素は0番です。1始まりではないので注意です。

配列へ追加する

配列の末尾にオブジェクトを追加するには
pushメソッドを使います。

```
names = ["五十嵐", "濱崎"]
```

```
names.push("山田")
```

```
p names → ["五十嵐", "濱崎", "山田"]
```

配列の繰り返し処理

教科書
p.38~

eachで中身を順番に処理する
ものすごーーーく大事！！！

配列.each do |変数|

繰り返したい処理

end

教科書
p.40~

ハッシュ(Hash)

ほかのオブジェクトの入れもの

キーと値の組を持てます。なんでも入ります。

作り方の例：

```
recipe = {  
  :title => "♥日向夏のジャム♥",  
  :author => "濱崎" }
```

↑ キー

↑ 値

オーソドックスなとんかつ

←title

**description**

揚げ物楽しい、豚肉安い、ソースも簡単

author

1枚くらい

豚ロース

こしょう

少々

サラダ油

豚ロースが全て浸かるくらい

■ 衣

小麦粉（薄力粉）

100gくらい

卵

1個弱

パン粉

100gくらい

ingredients→**recipe = {****:title => "オーソドックスなとんかつ",****:author => "hmskpad",****:description => "揚げ物楽しい、豚肉安い、ソースも簡単",****:ingredients => [省略] }**

Hashを使う
とこんな感じ
でまとめられ
ます

教科書
p.41～

シンボル

ラベルとして使う文字列的なもの

:title

シンボルにするには先頭に : を付ける

ハッシュから読み込む

```
recipe = { :title => "♥日向夏のジャム♥",
:author => "濱崎" }

p recipe[:title] → "♥日向夏のジャム♥"
p recipe[:author] → "濱崎"
```

ハッシュ名[キー]で読み込みます。

ハッシュへ追加する

ハッシュ名[キー] = 格納したいオブジェクト

同じキーの要素は追加不可(上書き)

ハッシュオブジェクト内でキーは唯一のもの(ユニーク)

```
recipe = { :title => "♥日向夏のジャム♥",
           :author => "濱崎" }
```

```
recipe[:url] = "http://cookpad.com/recipe/xxx"
```

追加後

```
p recipe → { :title => "♥日向夏のジャム♥",
               :author => "濱崎",
               :url => "http://cookpad.com/recipe/xxx" }
```

ハッシュの繰り返し処理

Arrayと同じですが、変数を2個とります。

```
ハッシュ.each do |キーの変数, 値の変数|
```

繰り返したい処理

```
end
```

```
recipe = { :title => "♥日向夏のジャム♥", :author => "濱崎" }
```

```
recipe.each do |k, v|
```

```
  print k, " - ", v, "\n"
```

```
end
```

→ title - ♥日向夏のジャム♥

author - 濱崎

ArrayとHashの使い分け

Array : 順番が決まっているいれもの

- ・並び順が重要なものの
- ・データを重複させたい場合に利用

Hash : キー(名札)を付けられるいれもの

- ・順番が保持されなくとも困らないもの

※Ruby 1.9 からはHashも順番を保持します。

- ・キーが重複しない場合に利用

nil

「ない」ことを表すオブジェクト
例えば、ハッシュで存在しないキーを読もう
とするとこの nil が返ってきます。

if 文などで条件判断をする場合、

nil は 偽（不成立）になります。

偽（不成立）になるのは false と nil の2つだけです。

それ以外の全ての値は真（成立）になります。

解答

配列(Array)の演習

1. 配列 [1,3,5] の全要素を表示するコードを書いてください。
2. 配列 [1,3,5] の全要素を加えた結果を表示するコードを書いてください。

ヒント: ある変数に数 N を足すのは $x = x + N$ です。これは $x += N$ とも書けます。

3. 【上級】配列 [1,1,2,2,3]を[1,2,3]にするコードを1行で書いてください。

ヒント: リファレンスでArrayのメソッドを探してみましょう。

<http://miyamae.github.com/rubydoc-ja/1.9.3/>

4. 【上級】上記2.をeachを使わずに書いてください

ヒント: injectを使います。使い方はリファレンスから探ししましょう。

<http://miyamae.github.com/rubydoc-ja/1.9.3/>

配列(Array)の演習解答

1. 配列 [1,3,5] の全要素を表示するコードを書いてください。

```
array = [1,3,5]
array.each do |x|
  puts x
end
```

配列(Array)の演習解答

2. 配列 [1,3,5] の全要素を加えた結果を表示するコードを書いてください。

ヒント: ある変数に数 N を足すのは $x = x + N$ です。これは $x += N$ とも書けます。

```
sum = 0
array = [1,3,5]
array.each do |x|
  sum = sum + x
end
puts sum
```

配列(Array)の演習解答

3. 【上級】 配列 [1,1,2,2,3]を[1,2,3]にするコードを1行で書いてください。

ヒント：リファレンスでArrayのメソッドを探してみましょう。

<http://miyamae.github.com/rubydoc-ja/1.9.3/>

p [1,1,2,2,3].uniq!

配列中の重複を除き、各値1つずつにするには

Array#uniq! を使います。

<http://miyamae.github.com/rubydoc-ja/1.9.3/#!method/-array/i/uniq=21.html>

配列(Array)の演習解答

4. 【上級】 上記2.をeachを使わずに書いてください

ヒント : injectを使います。使い方はリファレンスから探しましょう。

<http://miyamae.github.com/rubydoc-ja/1.9.3/>

```
p [1,3,5].inject(0){|sum, i| sum += i }
```

inject は便利でかっこいいメソッドです。

<http://miyamae.github.com/rubydoc-ja/1.9.3/#!/method/-enumerable/i/reduce.html>

ちなみに、なぜArrayクラスのメソッドではないinjectを使えるかと
いうと、ArrayはEnumerableというモジュールのメソッドも使え
るからです。Arrayだけでなく、eachを持つ全てのクラスは
Enumerableを使うことができます。

Hashの演習

1. ハッシュの全要素を表示する、右のコードを実行してください。

```
recipe = {
  :title => "いちごのコンフィ",
  :author => "濱崎" }
recipe.each do |k, v|
  print k, " - ", v, "\n"
end
```

2. 1.のコード中のrecipeの :author キーに対応する値を "五十嵐" とする代入文を書いてください。

3. 【上級】 右のnumsを値が偶数の要素だけにしてください。

ヒント：リファレンスでHashのメソッドを探してみましょう。
<http://miyamae.github.com/rubydoc-ja/1.9.3/>
剰余(割り算した余り)を求める演算子は % です。

```
nums = {
  :a => 1,
  :b => 2,
  :c => 3,
  :d => 4,
  :e => 5}
```

Hashの演習解答

2. 1.のコード中の**recipe**の **:author** キーに
に対応する値を "五十嵐" とする代入文を書
てください。

```
recipe = {  
  :title => "いちごのコンフィ",  
  :author => "濱崎" }  
recipe[:author] = "五十嵐"
```

Hashの演習解答

3. 【上級】右のnumsを値が偶数の要素だけにしてください。

```
nums = { :a => 1, :b => 2,  
         :c => 3, :d => 4, :e => 5}  
nums.select! do |k,v|  
  v % 2 == 0  
end  
p nums
```

`select!` は、あとに続く

`do - end` の結果が`true` の要素だけを残すメソッドです。

過去資料置き場

<https://github.com/hitotsubashi-ruby/lecture2012>

facebook group

<https://www.facebook.com/groups/hitotsubashi.rb>